

梅だより

verde

梅の香りに心が和む季節となりました。
まだまだ寒い日が続きますが、皆様が良き春を
お迎えになられますようお祈りいたします。



ベルジとはポルトガル語で「緑の」という意味です。
木々の枝葉や、若草のみずみずしい様子を表しています。

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 845-3

グランドホーム箕輪

☎ 027-371-3717 📠 027-371-3730

E-mail g-minowa@e-verde.co.jp URL <http://www.e-verde.co.jp>

発行責任者：総支配人 守田 昌史

支配人 金子 律子

グラントホーム箕輪 1月の出来事

お屠蘇



元旦にお屠蘇を召し上がっていただきました。

- ・屠る…鬼を葬ったり邪気を払う
- ・蘇る…魂を目覚めさせる

お屠蘇は新しく始まる一年の邪気を払い、長寿を願ってお正月にいただく縁起物のお酒です。

今年は巫女に扮した支配人からお屠蘇（甘酒）が振る舞われ、獅子舞も登場しました。「獅子が噛みつくと神がつく」という縁起担ぎの意味も

あり、皆様一人ひとりの頭を噛み邪気を払いました。今年も健康に過ごせるよう入居者の皆様とお祝いしました。笑顔の絶えない一年になりますように☺



三が日お祝いメニュー

1月1日昼食

1月2日昼食

1月3日昼食



- おしながき
- ・お赤飯
 - ・雑煮
 - ・鯛の塩焼き
 - ・きんぴら牛蒡
 - ・だて巻き
 - ・フルーチェ

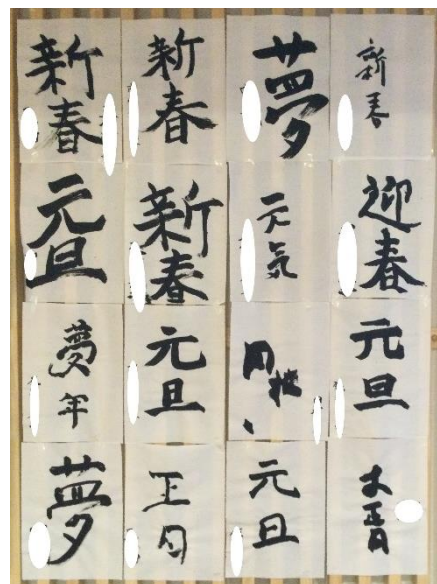
- おしながき
- ・ちらし寿司
 - ・すまし汁
 - ・里芋の白煮
 - ・花人参
 - ・牛乳ソフト

- おしながき
- ・ご飯
 - ・味噌汁
 - ・天ぷら盛合せ
 - ・紅白かまぼこ
 - ・とろんこ巻き
 - ・芋きんとん

デイサービス



お正月という事で新年の書初めをしました。皆様緊張されていましたが、とても上手に書くことが出来ました。また、群馬県では有名な「上毛かるた」でかるた取りを楽しんでいただきました。職員が読み上げると真剣な表情で絵札を探して、熱心に取り組んでいました。大勢で楽めると同時に、良い脳トレにもなるかるたは大好評でした。



健康応援コラム

【100歳まで歩ける身体に向けてのかんたんレッスン そのⅢ】

人間は生きていれば色々な喜怒哀楽が起こります。それを人生と呼びます。個人的には1つ目4つ目は、何度でもお代わりして、喜喜樂樂と行きたいですがそうは問屋が卸さない。中央の2つは、極力御免蒙りたいですが、こちらもそういう訳にも行きません。

そこで少しでも皆様の運気を上げて、身体を健康にする方法をお伝えしてみます。これは神社仏閣で借り受けるお守りみたいな感覚でいいと思って下さい。その方法とは、習慣と願いです。毎日の健康的な行いと、健康になりたいとの願いが必ず必ず健康に繋がると強く信じて行動してみてください。

健康的な行いとは、前回にご紹介したストレッチでも良いですし、または散歩でも良いです。ご高齢の方の散歩コースは、イオンモール高崎を強くお勧めいたします。理由は常に人の目があり警備員も在住している為です。転んでも助けが来るし、人の目があるから犯罪からも身を守りやすいです。

そして、それらを続けられるコツは、楽しむ事、適度にさぼる事です 笑 本年もご利用者様、ご家族様に安心と満足いただけるサービスを心がける所存です。何とぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝と安らぎを心よりお祈りいたします。

BCP訓練

2024年4月より介護事業所では業務継続計画（BCP）の策定が義務化されます。BCPの目的は大地震や水災害、感染症蔓延など不測の事態が発生した場合でも可能な限り業務を継続したり、早期に復旧したりできるように備えることです。BCPの策定後も実際に運用できるように、見直しや確認が必要で、今後もホームでは年2回の訓練と職員への研修を予定しています。整備した計画をもとに1月12日に震度6弱の地震発生想定し、職員参集や飲水、トイレ、暖房や非常電源について確認しました。備蓄品の他、起こりえる様々なことを想定し、都度内容の見直しをしていきます。

お知らせ

【介護・医療連携推進会議の開催】

地域住民の代表者や行政の方、利用者、利用者のご家族等で構成される協議会で、サービスの提供状況や皆様からの助言等をいただく機会でもあります。日時等、詳細につきましては個別にご案内いたしますが、参加をご希望される方はご連絡ください。

（3月下旬平日15時開催予定）



編集後記

2024年が始まりました。新年早々に大きな地震や事故などのニュースが相次ぎました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

私たちは高齢者施設という、災害弱者といわれる方々の生活場所で働いています。災害訓練は定期的に行っていますが、災害の映像などを目にする、本当に色々なことを考えさせられます。災害が起きた時、その直後、少し時間が経ってから。入居者の皆さまのことはもちろん、そこで働く職員のこと、その地域のこと。その時その時に合わせて、色々な角度から物事を見ていかないといけません。

「備えあれば憂いなし」ということわざもありますが、物心画面の備えが必要ですし、一度備えたからと油断することなく、定期的な見直しや、今回のような災害をきっかけに見直してみるのも大切なのではないかと感じています。

今まで以上に、入居者の皆さまが安全に、安心して生活できる環境を整えられるよう努めていきたいと思っております。